



デジタルサイネージ
ユーザーマニュアル

免責事項

この文書について

- 本ドキュメントには、製品の使用および管理に関する指示が含まれています。以下に示す写真、図表、画像、およびその他すべての情報は、説明および解説のみを目的としています。
- 本ドキュメントに記載されている情報は、ファームウェアの更新その他の理由により、予告なく変更される場合があります。最新バージョンのドキュメントは、Hikvision ウェブサイト (<https://www.hikvision.com>) でご確認ください。別段の合意がない限り、杭州 Hikvision デジタルテクノロジー株式会社またはその関連会社（以下「Hikvision」）は、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証も行いません。
- 本製品をサポートする訓練を受けた専門家の指導と支援のもとで、この文書をご利用ください。

本製品について

- 本製品は、購入された国または地域でのみアフターサービスサポートを受けることができます。
- お選びいただいた製品が映像製品の場合は、以下のQRコードをスキャンして「映像製品の使用に関する取り組み」を入手し、よくお読みください。



知的財産権に関する承諾

- 本ドキュメントに記載された製品に具現化された技術に関連する著作権および/または特許はHikvisionが所有しており、これには第三者から取得したライセンスが含まれる場合があります。
- 本文書のテキスト、画像、グラフィック等を含むいかなる部分もHikvisionに帰属します。書面による許可なく、本文書の全部または一部をいかなる手段によっても抜粋、複製、翻訳、改変することはできません。
- **HIKVISION** およびその他の Hikvision の商標およびロゴは、各管轄区域において Hikvision の財産です。
- 記載されているその他の商標およびロゴは、それぞれの所有者の財産です。
- **HDMI™** HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

免責事項

- 適用される法律で認められる最大限の範囲において、本書および本書に記載されている製品（そのハードウェア、ソフトウェア、およびファームウェアを含む）は、「現状有姿のまま」かつ「すべての欠陥およびエラーを含むまま」提供されます。HIKVISION は、商品性、

満足のいく品質、特定目的への適合性を含むがこれらに限定されない。本製品の使用は、お客様ご自身の責任において行ってください。いかなる場合においても、HIKVISIONは、事業利益の損失、事業中断、データの損失、システムの破損、または文書の損失を含むがこれらに限定されない損害について、契約違反、不法行為（過失を含む）、製造物責任その他のいかなる法的根拠に基づくものであっても、本製品の使用に関連して生じた場合、HIKVISIONがそのような損害または損失の可能性について事前に通知を受けていた場合であっても、一切の責任を負いません。

- お客様は、インターネットの性質上、固有のセキュリティリスクが存在することを認識し、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス感染、その他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常動作、プライバシー漏洩、その他の損害について一切の責任を負いません。ただし、必要に応じてタイムリーな技術サポートを提供します。
- お客様は、本製品を適用されるすべての法令に準拠して使用することに同意し、お客様の使用が適用される法令に準拠していることを確認する責任はお客様にあります。特に、お客様は、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない、第三者の権利を侵害しない方法で本製品を使用することについて責任を負います。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発物または安全でない核燃料サイクルに関連する文脈における活動、または人権侵害を支援する活動を含むがこれらに限定されない。
- 本文書と適用される法律との間に矛盾が生じた場合は、後者が優先する。

© 杭州海康威視数字技術有限公司。無断複写 転載を禁じます。

適用モデル

本マニュアルは、デジタルサイネージに適用されます。

記号の定義

本ドキュメントで使用される記号は、以下の通り定義されています。

記号	説明
 Note	本文の重要な点を強調または補足するための追加情報を提供します。
 Caution	回避しなければ、機器の損傷、データの損失、性能の低下、または予期しない結果を引き起こす可能性のある潜在的な危険な状況を示します。
 Danger	回避しなければ死亡または重傷につながる高いリスクレベルの危険を示します。

目次

第1章 はじめに.....	1
第2章 注意事項および操作.....	2
2.1 電源ケーブルの使用.....	2
2.2 清掃とメンテナンス.....	3
2.3 設置上の注意.....	3
2.4 リモコン.....	4
第3章 起動とシャットダウン.....	5
3.1 デバイスの起動.....	5
3.2 シャットダウン.....	5
第4章 インテリジェントアプリケーション.....	6
4.1 ホームページ操作.....	6
4.2 設定.....	7
4.3 FocSign Player.....	7
4.3.1 アクティベート.....	7
4.3.2 デバイスを追加.....	8
4.3.3 デバイスページでの操作.....	12
4.3.4 USBフラッシュドライブ経由でのリリース.....	12
4.3.5 FocSign Editor経由でのリリース.....	13
4.4 ファイルブラウザ.....	14
4.5 WonderCastServer.....	15
4.6 システムプリインストールアプリケーション.....	15
第5章 システム設定.....	17
5.1 ネットワーク設定.....	17
5.1.1 有線ネットワーク設定.....	17
5.1.2 ワイヤレスネットワーク設定.....	17
5.1.3 ホットスポット設定.....	18
5.1.4 Bluetooth.....	19
5.2 表示設定.....	19
5.3 オーディオ設定.....	20
5.4 アプリ管理.....	20
5.5 ストレージ管理.....	21
5.6 セキュリティ.....	22
5.7 システム.....	22
5.7.1 概要.....	22
5.7.2 日付と時刻.....	23
5.7.3 言語と入力.....	23
5.7.4 その他の情報.....	23
5.8 詳細設定.....	24

第1章 はじめに

デジタルサイネージ（以下「本装置」）は、狭額縁設計の4辺等辺デザインを採用し、スリムボディと超薄型バックシエル設計を実現しています。シンプルな配線ガイド溝により、電源ケーブルと信号ケーブルを合理的に配線・管理できます。

デジタルサイネージは横向きと縦向きモードを自由に切り替え可能で、複数のウィンドウで画像と動画を同時に再生できます。500～700ニットの高輝度・高耐霧性を備えたプロフェッショナル商用ディスプレイは、明るい環境下でも鮮明なコンテンツ表示を実現し、スマート広告やインテリジェントプロモーションに広く活用されています。

主な特徴

- 超狭額縁、均一なベゼルデザイン。
- 配線ガイド溝付き超薄型バックシエル設計。
- 4K HD画質でより詳細な画像表現を実現。
- 飽和した広色域、クリアで広い視野角。

第2章 注意事項と操作

本製品の液晶パネルは高精度技術で製造されています。ただし、画面上に常に点灯している、あるいは全く点灯していない微小なスポットが確認される場合や、横から見た際に色や明るさにムラが生じる場合があります。ただし、これらの現象は液晶ディスプレイに共通する特性であり、故障ではなく、本製品の性能に影響を与えるものではありません。

- 当社は、本装置の操作中に第三者が引き起こした不具合、その他の故障や損傷について一切の責任を負いません。
- 火災や損傷の危険を避けるため、ほこり、高湿度、油や蒸気が接触する環境では本装置を操作しないでください。
- 直射日光や強い光源の近くに装置を置かないでください。
- 強い放射線を発生する他の機器の近くに本装置を置かないでください。
- 本装置を雨や湿気の多い環境にさらさないでください。
- 本装置を不安定または安全でない場所に設置しないでください。強い衝撃、振動、揺れを避けてください。
- 火災の危険を避けるため、暖房器具や高温の場所の近くで本機器を操作しないでください。
- 低温環境から高温環境へ移動した後は、環境から高温環境へ移動させた後、すぐに電源を入れないでください。結露が蒸発するまでお待ちください。
- 本機内部に異物を挿入しないでください。
- 本機の上に重い物を載せないでください。
- 本製品および付属品は予告なく変更される場合があります。
- ディスプレイの脆弱な素材は落下や衝撃に弱いいため、取り扱いには十分ご注意ください。
- デバッグ時および操作時の不適切な操作は、機器の損傷を引き起こす可能性があります。
- 硬い物体で本機を引っ掻いたり叩いたりすることは厳禁です。動作中の頻繁な電源のオン/オフは、損傷や故障のリスクを避けるため避けてください。
- 本機から煙、異臭、異音が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源プラグを抜いてください。その後、サービスセンターまでご連絡ください。

2.1 電源ケーブルの使用について

- 電源ケーブルが損傷または故障している場合は、サービスセンターにご連絡ください。電源が適切に接地され、筐体プレートに記載の仕様に適合していることを確認してください。
- 本装置を雨や湿気の多い環境にさらさないでください。雷雨時には電源プラグとアンテナを外してください。
- 長期間使用しない場合は、装置の電源を切り、電源を遮断してください。

- 電源を切った後、短時間放電が続く場合があります。電源を切ってから2分間待ってから操作してください。
- 本製品に付属の純正電源ケーブルのみをご使用ください。同仕様の電源ケーブルをご購入の際は、正規販売店にお問い合わせください。
- 電源が接地されていることを確認してください。
- 電源プラグとコンセントにはほこりや金属部品が付着しないようにしてください。
- ケーブルをいかなる形でも改造しないでください。
- ケーブルの上に重い物を置かないでください。
- ケーブルを熱源から遠ざけてください。
- ケーブルを引っ張って電源プラグを抜かないでください。
- 電源ケーブルを物理的または機械的な損傷から遠ざけてください。
- 本ケーブルはインタラクティブディスプレイ専用です。他の機器には使用しないでください。

2.2 清掃とメンテナンス

- 背面カバーの穴は放熱用です。背面カバーに液体を注いだり噴射したり、濡れた布で清掃しないでください。
- 清掃前には必ず電源プラグを抜いてください。
- 画面に高輝度の画像を長時間表示し続けしないでください。
- 乾いた柔らかいほこりのない布で本機を拭いてください。
- 内部清掃についてはサービスセンターにお問い合わせください。
- 適切なメンテナンスにより、初期段階の故障を回避できます。
- 定期的にデバイスを清掃し、新品同様の状態を保ってください。
- 水、スプレー式洗剤、工業用化学薬品で本機を清掃しないでください。異物が本機内部に入るのを防いでください。
- 装置のメンテナンスは、資格のあるサービス担当者に依頼してください。装置が損傷した場合は、弊社にご連絡ください。無許可のメンテナンスは行わないでください。

2.3 設置上の注意事項

- 最高の性能を発揮させるため、設置前にデバイスの画面と背面を清掃してください。
- 安全のため、メーカー提供の壁掛け金具または台座のみをご使用ください。
- 壁掛け設置は専門スタッフにご依頼ください。
- 取り付け前に付属品を確認してください。不足品がある場合は販売店に連絡してください。
- デバイスを過度に締め付けしないでください。画面が歪む恐れがあります。
- 荷重壁に本機を取り付けてください。
- 安定した場所に設置するか、壁にしっかりと固定してください。

- 電源接続を容易にするため、利用可能なAC電源コンセントの近くに設置してください。信号干渉を防ぐため、他の機器と同一の接地ケーブルを使用してください。
- 機械的な振動源の近くに装置を置かないでください。
- 虫が容易に侵入できる環境に設置しないでください。
- 結露を防ぐため、エアコンの吹き出し口を直接向けしないでください。
- 電波干渉を避けるため、本機器を強い電磁界に置かないでください。

2.4 リモコン

マウスを接続して操作する以外に、赤外線リモコンも使用できます。操作手順の画像は以下の通りです。

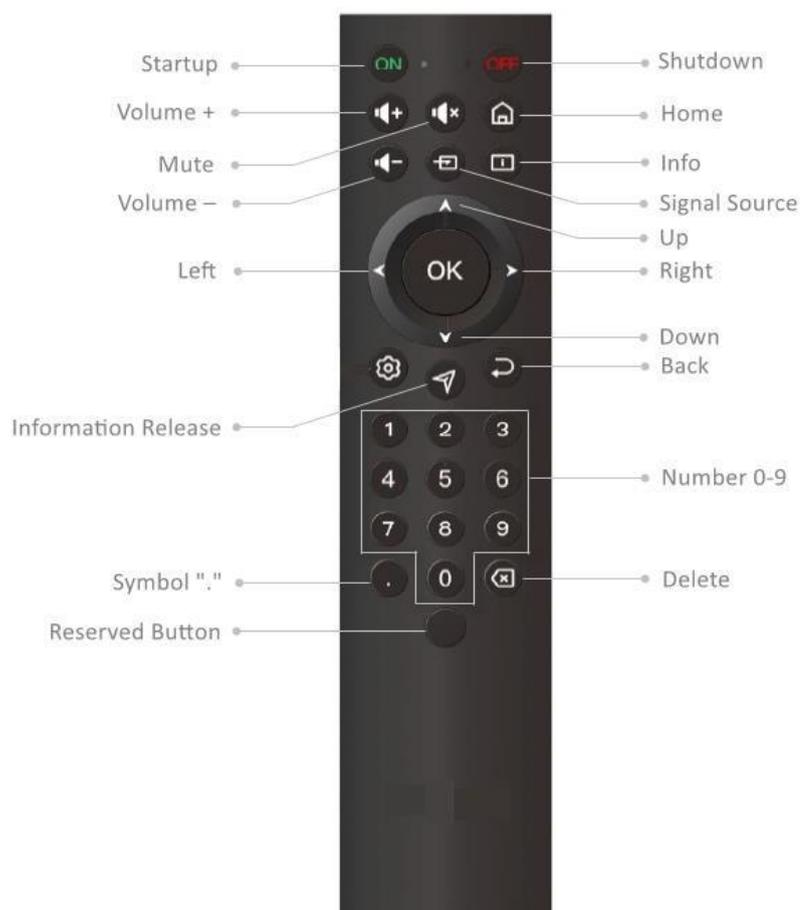


Figure 2-1 リモコン

Note

リモコンはバージョンによって異なる場合があります。実際の状況をご確認ください。

第3章 起動とシャットダウン

3.1 デバイスの起動

デバイスを電源に接続すると、自動的に起動します。

3.2 シャットダウン

電源を直接切断するか、リモコンの電源オフボタンを長押しして装置をシャットダウンできます。



電源プラグを抜かずにリモコンの電源ボタンを押した後、リモコンの  を押すと、デバイスを起動できます。



第4章 インテリジェントアプリケーション

4.1 ホームページ操作

Note

ソフトウェアのインターフェースや機能は、デバイスのモデルによって異なる場合があります。本マニュアルの写真はすべて、説明のために使用されているものです。

デバイスの電源を入れ、ホームページに移動します。



Figure 4-1 ホームページ

Note

メイン画面のアプリケーションアイコンを長押しすると、以下の操作が可能です：

- アプリケーションを画面間で移動する。
- 他のアプリケーションとフォルダに統合する。

Table 4-1 ホームページ基本操作

アイコン	説明
	ホームページ上の時刻または日付をクリックすると、設定を確認できます。詳細については、「 5.7.2 日付と時刻 」を参照してください。
	クリックすると、有線ネットワーク、無線ネットワーク、ホットスポット、Bluetoothの詳細なパラメータを設定できます。詳細は「 5.1 ネットワーク設定 」を参照してください。
	通知を表示します。

4.2 設定

クリックしてシステム設定に入ります。詳細は「**第5章 システム設定**」を参照してください。

4.3 FocSign Player

FocSign Playerを起動すると、FocSign Player経由でデバイスにプログラムを表示できます。

4.3.1 Activate

手順

Step 1 ホームページで **FocSign Player** アプリケーションをクリックしま

Step 2 す。ポップアップウィンドウで独自のパスワードを設定します。

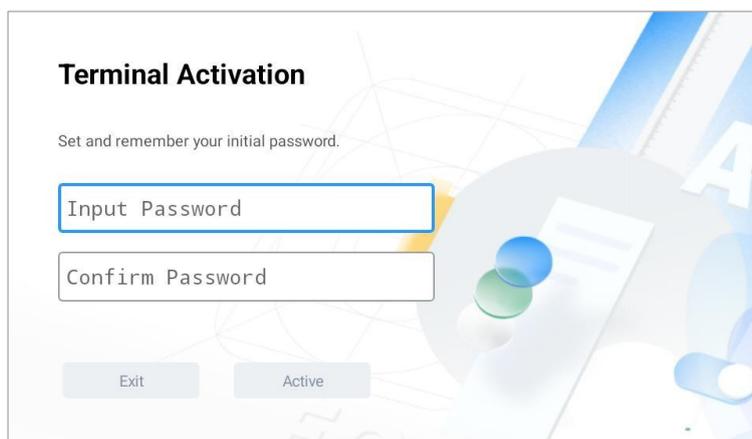


Figure 4-2 ポップアップウィンドウ

 **Note**

パスワードは頻繁に使用しますので、必ず覚えておいてください。パスワードを忘れた場合は、テクニカルサポートまでご連絡ください。

Step 3 (オプション) パスワード保護を有効にします。パスワード保護を有効にすると、デバイスのセキュリティ保護のため、詳細情報ページで設定を行う前に毎回パスワードの入力が必要になります。

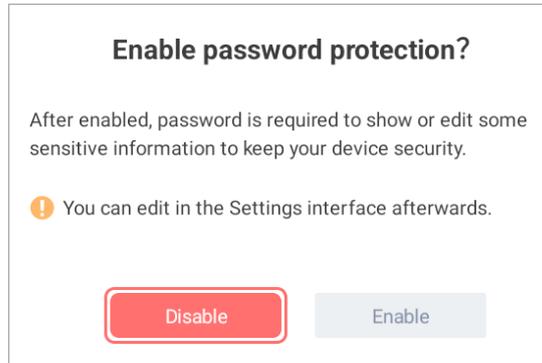


Figure 4-3 パスワード保護を有効にする

4.3.2 Add Device

FocSign Playerを起動後、サーバー登録または手動追加でデバイスを追加できます。

自動登録

手順

Step 1 起動後のポップアップウィンドウで「登録」をクリック。または詳細情報ページに移動し、「情報表示」→「再接続」をクリックして登録。

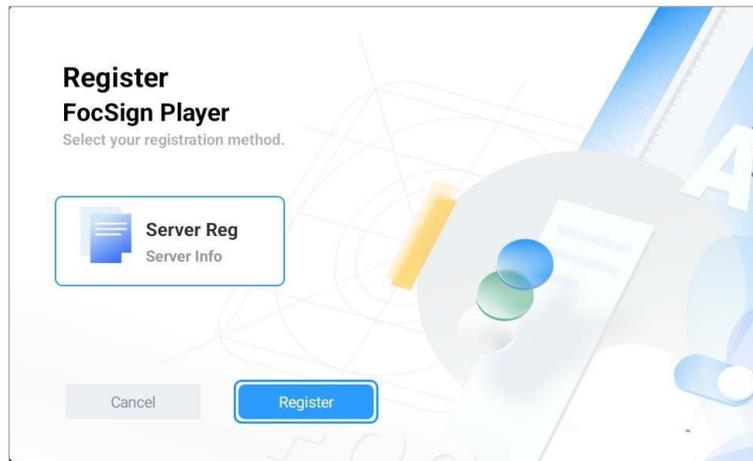


Figure 4-4 ポップアップウィンドウで登録

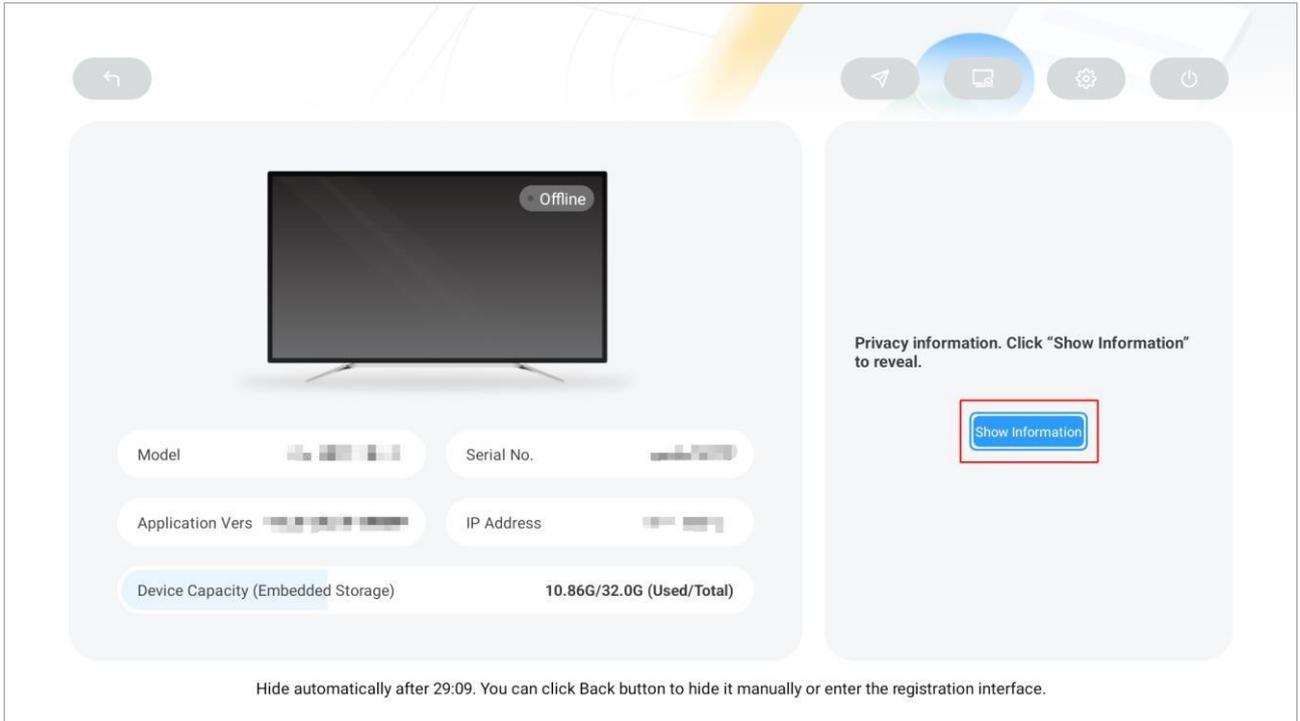


Figure 4-5 「情報を表示」をクリックして登録

Step 2 デバイス名（カスタム）、サーバーアドレス、ポート番号、およびHikCentral FocSign Webクライアントの認証コードを入力します。**[OK]**をクリックします。

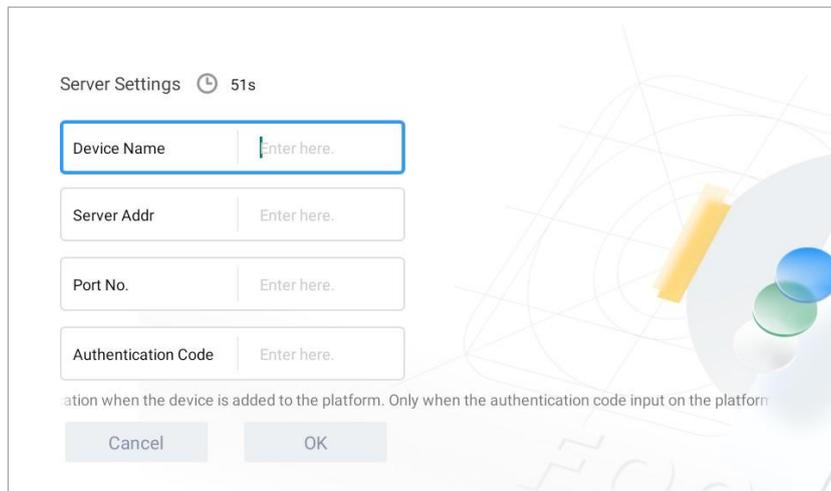


Figure 4-6 サーバー設定

Note

- サーバーアドレスはプラットフォームクライアントから取得できます。
- ポート番号はデフォルトで7660です。プラットフォーム上でカスタマイズできます。
- 認証コードは、デバイスをプラットフォームに追加する際の二次認証に使用されます。プラットフォームに入力された認証コードが入力された場合のみ、デバイスは正常に追加されます。

Step 3 詳細情報ページに入力すると、FocSign Playerの基本設定が完了します。

Step 4 HikCentral FocSign Webクライアントで、[デバイス管理] → [デバイスとサーバー] → [デジタルサイネージ端末] → [自動登録] → [端末で自動登録による追加] に移動します。

デジタルサイネージ端末 → 自動登録 → 端末の自動登録による追加

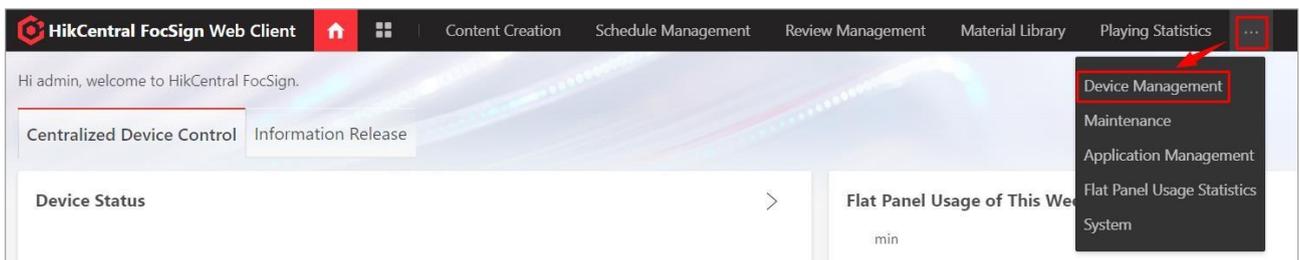


Figure 4-7 デバイス管理

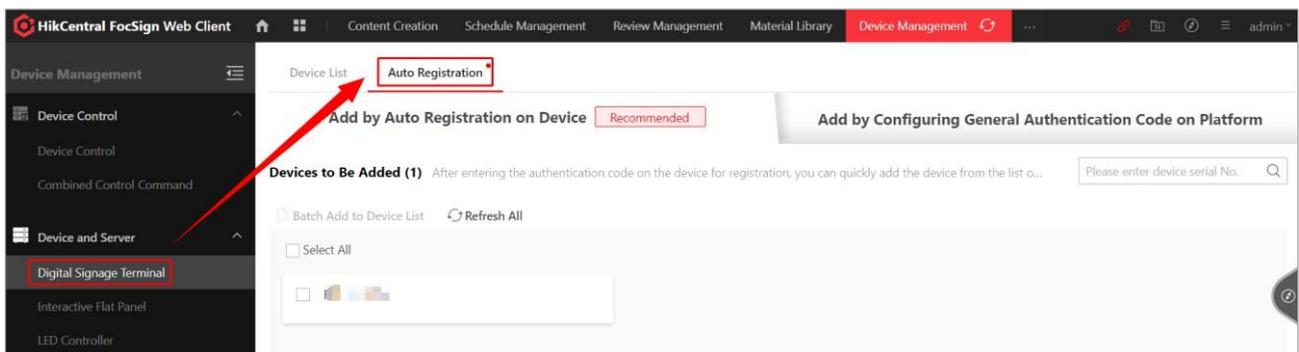


Figure 4-8 自動登録

Step 5 端末でサーバー設定を完了したら、[すべて更新]をクリックします。プラットフォーム上で端末が見つかった場合、端末上の **Offline** は **Online** に変わります。

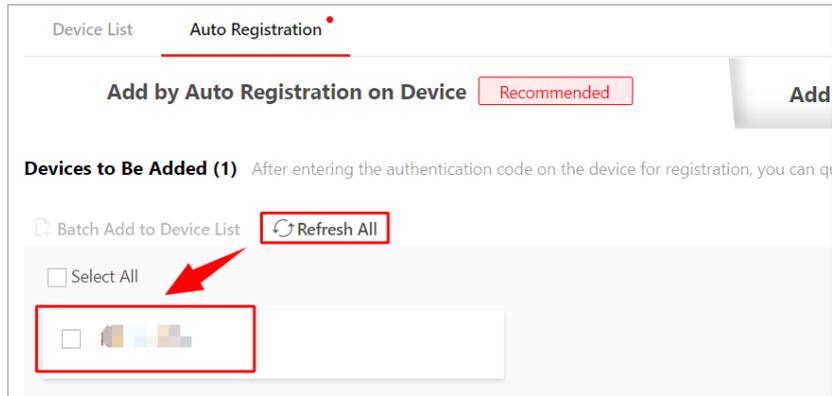


Figure 4-9 デバイス検索のための更新

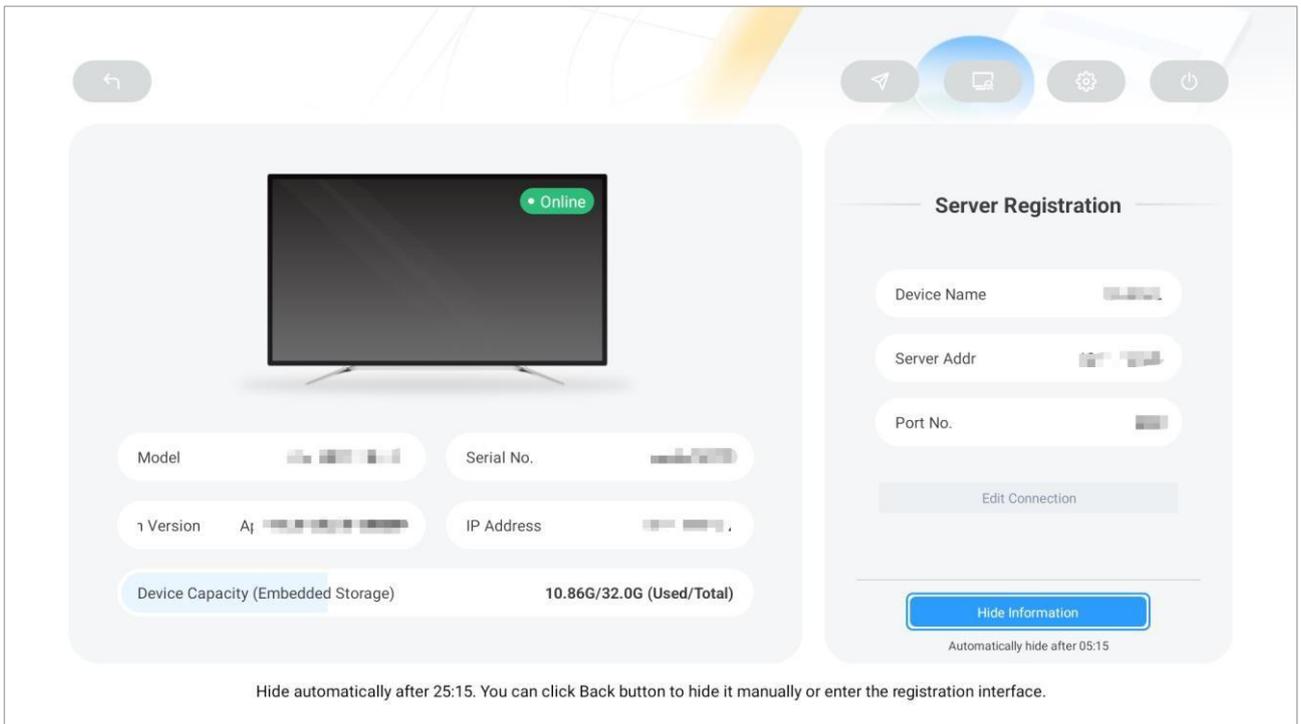


Figure 4-10 詳細情報ページ

手動で追加

HikCentral FocSign Web Clientのユーザーマニュアル（第5.1.1章）を参照してください。

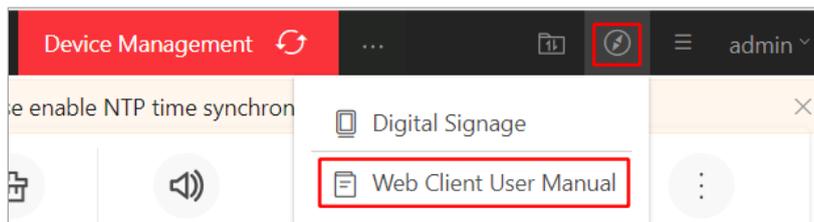


Figure 4-11 ユーザーマニュアルを入手する

 **Note**

ユーザーマニュアルには、コンテンツ作成やコンテンツ公開など、その他の必要な操作も記載されています。

4.3.3 Operations on Device Page

ページ上部に5つのボタンがあります。

Table 4-2 ボタン説明

アイコン	説明
	プログラムページに戻るにはクリックしてください。
	クリックすると FocSign Editor アプリケーションに移動します。詳細については、ユーザーマニュアルの「 4.3.5 FocSign Editor によるリリース 」を参照してください。
	デバイスネットワーク状態、ストレージサービスなどを検出するにはクリックしてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● パスワード保護を有効にするかどうか。 ● プログラムを内蔵ストレージに強制的に保存するかどうかを選択できます またはしない。 ● 左下隅のデバイス情報を非表示または表示するかを選択します（例：デバイスオ フラインプロンプト）。 ● ライブストリームメディアプログラムのウィンドウ内でフレームレートとネットワ ーク速度を表示するか非表示にするかを選択します。
	クリックしてFocSign Playerを終了します。

4.3.4 Release via USB Flash Drive

プラットフォーム上でプログラムをリリースする以外に、USBフラッシュドライブを挿入してリリースすることもできます。

ご利用の前に

- FocSign Player はアクティベート済みです。
- **設定** → **セキュリティ**に移動し、**ストレージの禁止**を無効にします。

手順

Step 1 USBフラッシュドライブのルートディレクトリに「infoData」という名前のファイルを作成します。

Step 2 (任意) 素材ファイルに名前を付けます。命名規則は「番号_ファイル名.mp4/jpeg」です。例：1_material.mp4、22_material.jpeg。

 **Note**

番号は5桁以内にしてください。

Step 3 (任意) 「infoData」内にconfig.txtファイルを作成し、txtファイル内に「time=10s」と入力します。数値10は画像の切り替え時間であり、デフォルト時間は10秒です。数値を編集し、USBフラッシュドライブを再度挿入すると、対応する時間で画像が切り替わります。

Note

時間は10秒から604800秒の範囲である必要があります。設定値が範囲外の場合、切り替え時間はデフォルトで10秒になります。

Step 4 USBフラッシュドライブをデバイスに挿入し、パスワードを入力してください。デバイスは自動的にプログラムを全画面で実行します。

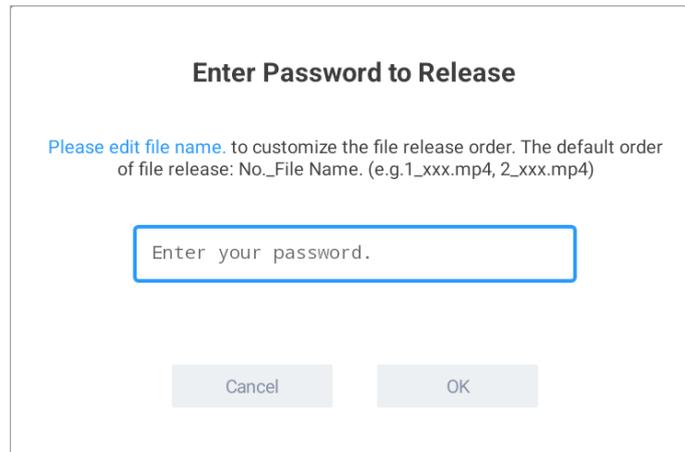


Figure 4-12 パスワード入力で解放

Note

- 素材名をカスタマイズした場合、再生順序はファイルの番号順になります。
- 素材名をカスタマイズしていない場合、ファイルは最終編集順に再生されます。最後に編集したファイルが最初に再生されます。また、画像は最初に再生され、その後動画が再生されます。

4.3.5 Release via FocSign Editor

FocSign Editorは、デジタルサイネージ上でプログラムを作成・公開できるローカル編集ソフトウェアです。ユーザーマニュアルは下記のQRコードをスキャンしてください。



Figure 4-13 FocSign Editor ユーザーマニュアル

4.4 ファイルブラウザ

ホームページで**ファイルブラウザ**をクリックします。デフォルトでは、現在のディレクトリにあるすべてのファイルが表示されます。「**画像**」、「**文書**」、「**AV**」、「**インストールパッケージ**」をタップして、指定したファイルを表示します。

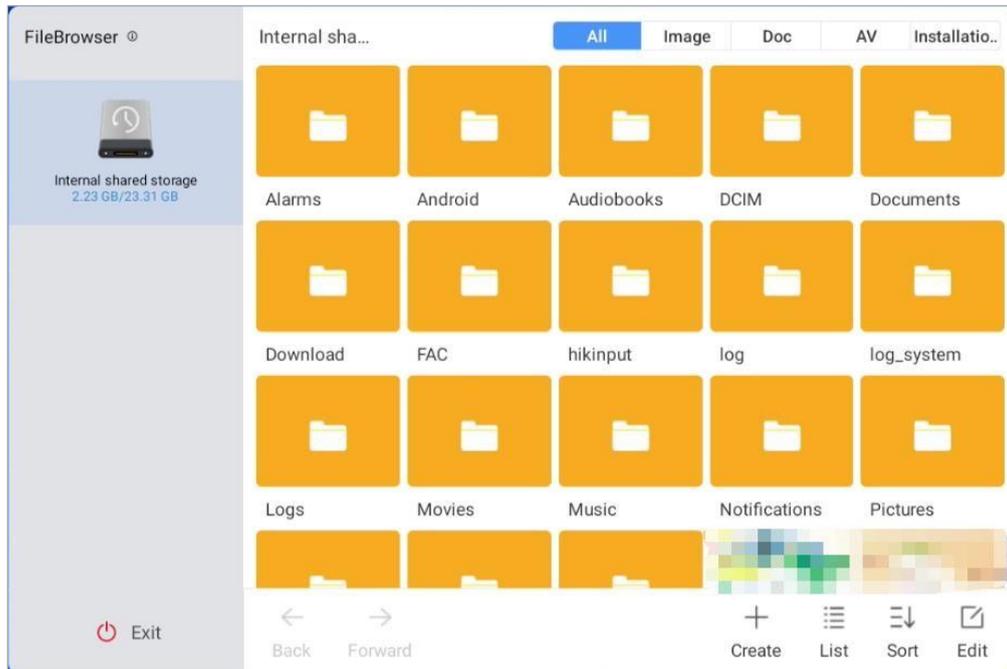


Figure 4-14 ファイルブラウザ

アイコンの説明は以下の通りです。

Table 4-3 ファイルブラウザアイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
戻る/進む	前のページ/次のページへ移動します。	新規作成	新しいフォルダを作成します。
グリッド/リスト	ファイルをグリッドまたはリストモードで表示します。	並べ替え	ファイルの順序を変更してください。
編集	ファイルを編集する。	/	/

クリック  をクリックしてドキュメントを編集します。その他の機能については以下で説明します。

Table 4-4 編集アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
すべて選択	すべてのファイルを選択します。	コピー	選択したファイルを別のフォルダにコピーします。
移動	選択したファイルを別のフォルダに移動します。	削除	選択したファイルを削除します。
共有	選択したファイルを共有します。	/	/

Note

ファイルを長押ししてその他の操作を行います。

4.5 WonderCastServer

PCやスマートフォンの画面をデジタルサイネージにミラーリングできます。WonderCastServerの詳細については、以下のQRコードをスキャンしてください。



Figure 4-15 WonderCastServer ユーザーマニュアル

Note

WonderCastの機能は、デバイスモデルによって異なる場合があります。実際のアプリケーションの状況をご確認ください。

4.6 システムプリインストールアプリケーション

以下の表は、システムにプリインストールされているアプリケーションの概要です。詳細については、各アプリケーションのヘルプドキュメントを参照してください。

Note

システムにプリインストールされているアプリケーションは、デバイスタイプによって異なります。

Table 4-5 システムプリインストールアプリケーションの紹介

アプリケーション	概要
FileBrowser	ファイルを管理します。
ギャラリー	SDカードやUSBメモリ内の画像を表示するために使用されます。
AM Player	AM Player は、フル機能を備えたメディアプレーヤーツールです。
WonderCastServer	画面ミラーリングのためにデバイス、携帯電話、または PC を接続するために使用されるアプリケーションです。

第5章 システム設定

5.1 ネットワーク設定

ネットワークステータスは画面の下部に表示されます。

Table 5-1 ネットワークの状態

アイコン	説明
	有線ネットワークに接続されています。
	ワイヤレスネットワークに接続されています。
	ネットワークに接続されていません。

5.1.1 Wired Network Settings

手順

Step 1 設定 → ネットワーク → 有線ネットワーク に移動します。有線ネ

Step 2 ットワークを有効にします。

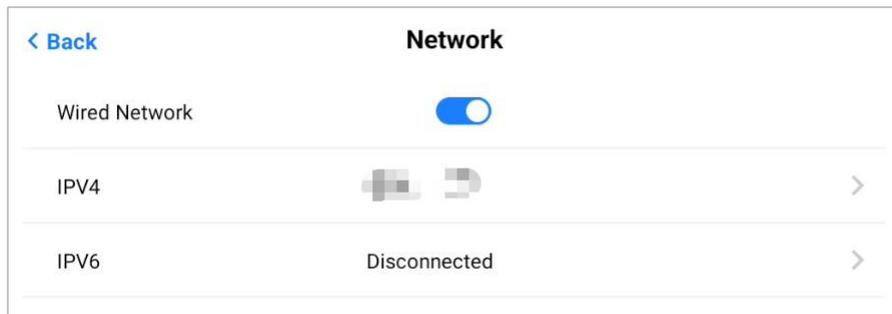


Figure 5-1 有線ネットワーク設定

5.1.2 Wireless Network Settings

手順

Step 1 設定 → ネットワーク → ワイヤレスネットワーク に移動します。

Step 2 wlanを有効にすると、新しいネットワークを追加したり、利用可能なネットワークに接続したりできます。

利用可能なネットワークに接続

利用可能なネットワークリストから目的のネットワークをタップし、パスワードを入力して接続します。

その他のネットワークを追加

手順

Step 1 「その他のネットワーク」をタップします。

Step 2 ネットワーク名を入力し、セキュリティを選択します。

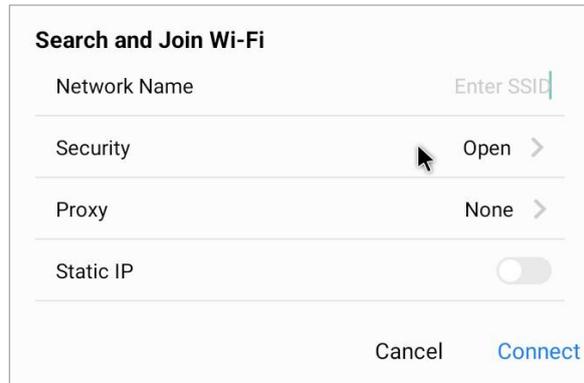


Figure 5-2 その他のネットワークを追加

Step 3 (任意) プロキシとネットワーク IP タイプを選択します。

Step 4 「接続」をタップして、デバイスを追加したワイヤレスネットワークに接続します。

5.1.3 Hotspot Settings

デバイスが有線ネットワークに接続されている場合、ホットスポットを有効にすることで他のデバイスに無線ネットワークを提供できます。

手順

Step 1 設定 → ネットワーク → ホットスポットに移動します。

Step 2 ポータブル WLAN ホットスポットを有効にします。

Step 3 ポップアップページでパラメータを設定します。

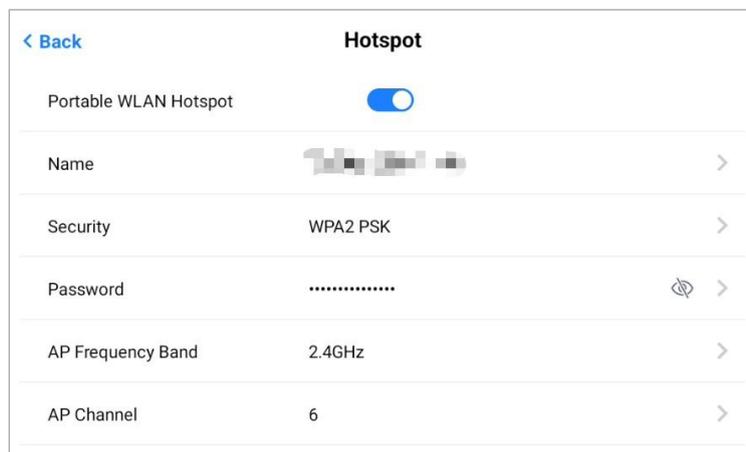


Figure 5-3 ホットスポット設定

Note

デバイスが 2.4 GHz と 5 GHz の両方をサポートしている場合は、5 GHz を **AP 周波数**として設定し、**AP チャンネル**として推奨チャンネルを設定すると、ワイヤレス画面ミラーリングなどの機能をより快適に利用できます。

5.1.4 Bluetooth

リモコン、オーディオ、キーボードなどは Bluetooth 経由で接続でき、ファイル転送も可能です。

Bluetoothを有効にして、近くにある利用可能なデバイスを検索し、接続したいデバイスをタップしてください。

5.2 ディスプレイ設定

設定 → ディスプレイ に移動し、明るさや画面の回転などのパラメータを調整します。

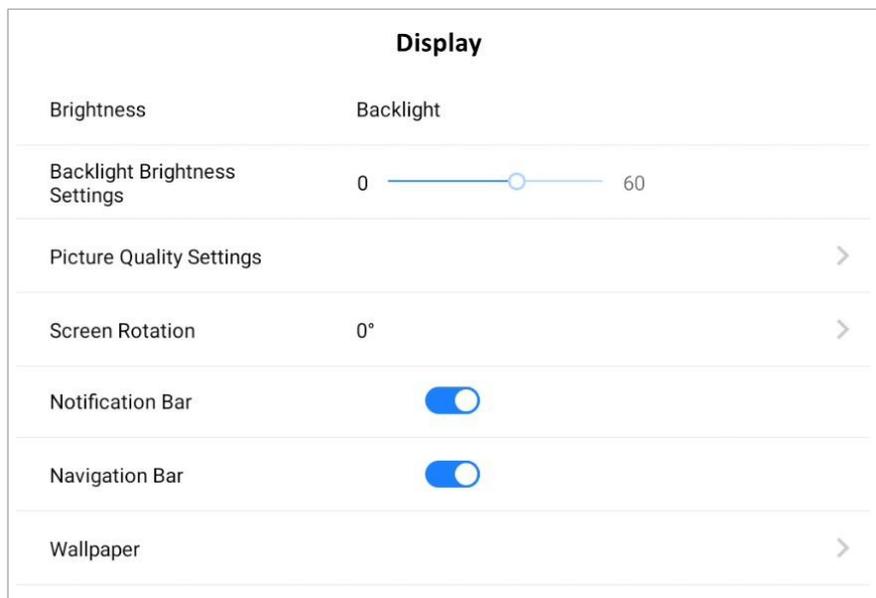


Figure 5-4 ディスプレイ設定

バックライトの明るさ設定

スライドして画面の明るさを調整します。

画質設定

クリックして、**画像モード**、**コントラスト**、**彩度**、**シャープネス**、**色温度**を調整します。 **画面回転**

クリックして画面の回転角度を設定します。

通知バー

通知バーを表示する。

ナビゲーションバー

有効にすると、ナビゲーションバーが表示されます。

壁紙

ギャラリーまたは壁紙&スタイルから壁紙を選択するにはクリックしてください。

5.3 オーディオ設定

手順

Step 1 設定 → オーディオに移動し、オーディオパラメータを設定します。

音量値を調整します。

Step 2

タイムドオーディオを有効にします。この機能はHikCentral FocSign Webクライアントで設定できます。

Step 3

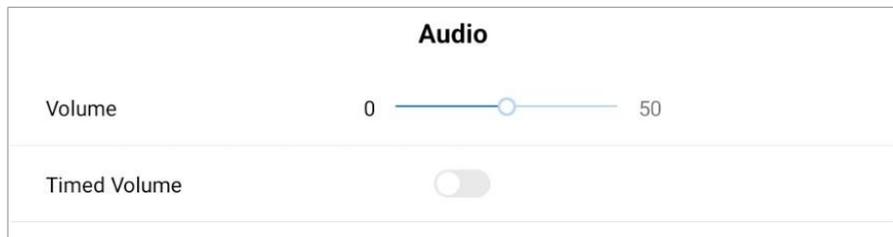


Figure 5-5 オーディオ設定

5.4 アプリ管理

手順

Step 1 設定 → アプリ管理に移動します。

Step 2 起動時に実行をクリックして有効にします。デバイスの起動時に実行するアプリケーションを選択できます。

デフォルトアプリをクリックして、デフォルトのブラウザアプリとホームページアプリを設定

します。詳細を確認するには、目的のアプリケーションをクリックします。

Step 3

Step 4

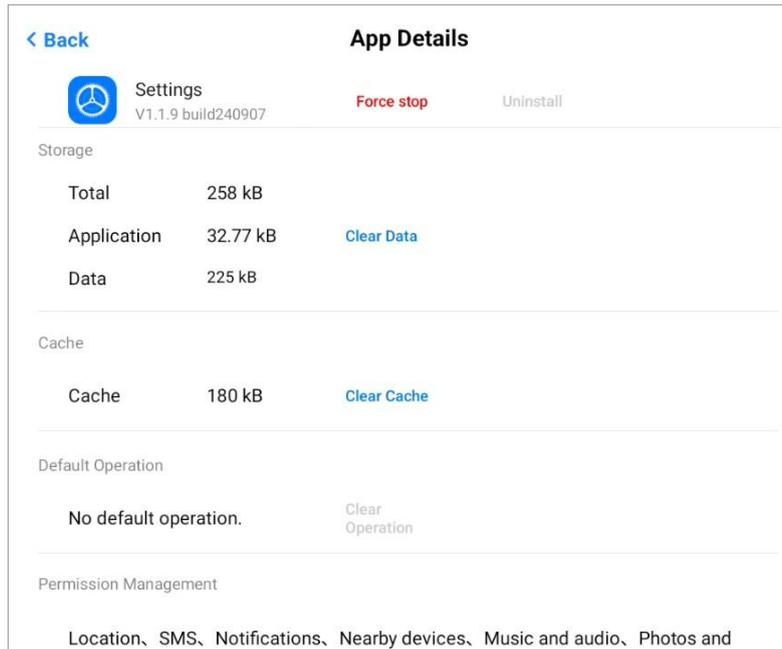


Figure 5-6 アプリケーションの詳細

Note

内蔵アプリケーションはアンインストールできません。アプリ詳細のアイコンをタップするとアプリケーションを開けます。

5.5 ストレージ管理

ストレージ管理をクリックすると、詳細なストレージ情報が表示されます。

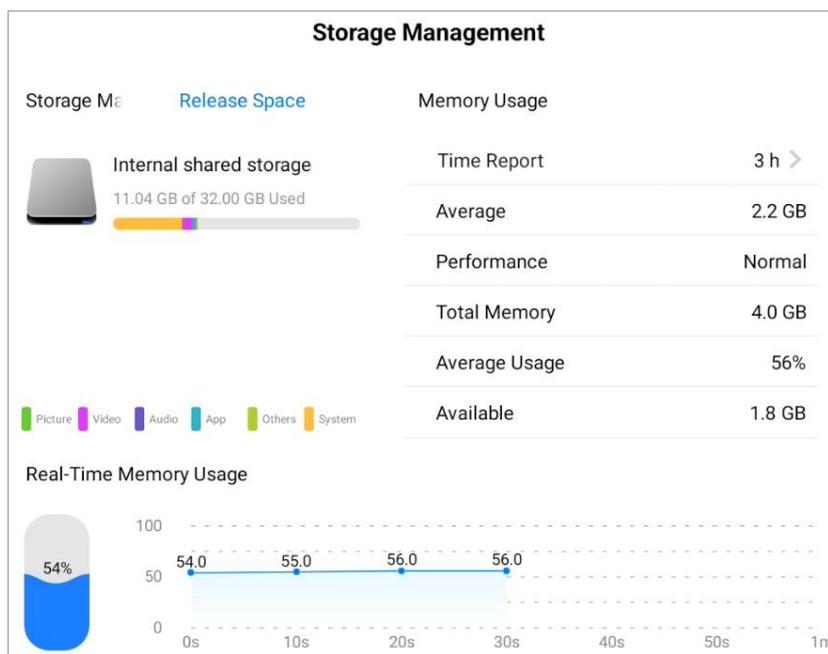


Figure 5-7 ストレージ管理の詳細

5.6 セキュリティ

設定 → セキュリティに移動してセキュリティ設定を行います。設定を**有効化する際にアクティベーションコードの入力が必要です**。
設定を有効化する際にアクティベーションコードを入力する必要があります。

Note

ここでいうアクティベーションコードとは、デバイスに初めてアクセスした際に設定したパスワードを指します。

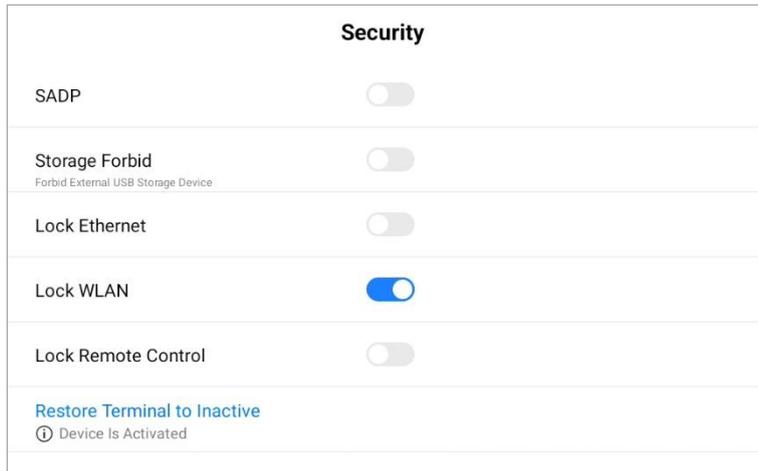


Figure 5-8 セキュリティ設定

5.7 システム

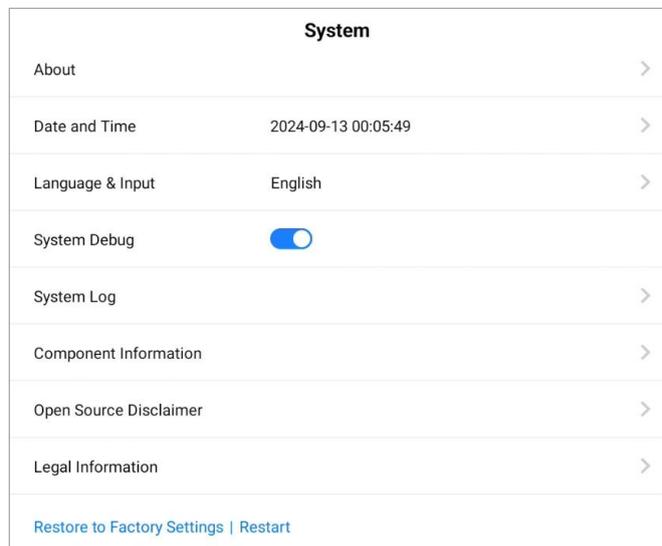


Figure 5-9 システム設定

5.7.1 About

クリックすると、デバイス情報（デバイスモデル、シリアル番号、Androidバージョンなど）を確認できます。

5.7.2 Date and Time

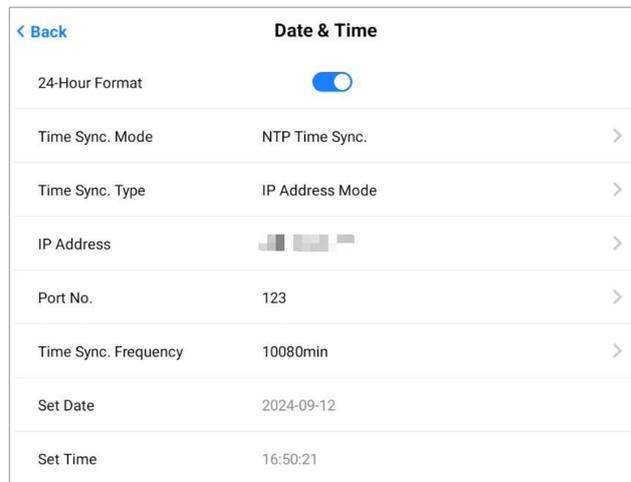


Figure 5-10 日付と時刻の設定

Step 1 時刻同期モードを選択します。

- 手動時刻同期モードを選択した場合、日付と時刻を手動で設定できます。
- NTP 時刻同期モードを選択した場合は、次に時刻同期タイプ（IP アドレスモードまたはドメイン名モード）を選択し、IP アドレス/ドメイン名、ポート番号、および時刻同期頻度を入力してください。

Step 2 タイムゾーンの選択をクリックして地域を選択します。

Step 3 (オプション) 24 時間形式を有効にして、24 時間形式で時刻を表示します。

5.7.3 Language & Input

手順

Step 1 設定 → システム → 言語と入力に移動します。言語をクリックし

Step 2 て、希望する言語を選択します。

Step 3 入力方式をクリックして、希望の入力方式を選択します。



Figure 5-11 言語と入力設定

5.7.4 Other Information

その他の情報をクリックすると、システムデバッグの有効化、システムログの表示、コンポーネント情報の確認、オープンソース免責事項および法的情報の閲覧、工場出荷時設定への復元、デバイスの再起動が可能です。

5.8 詳細設定

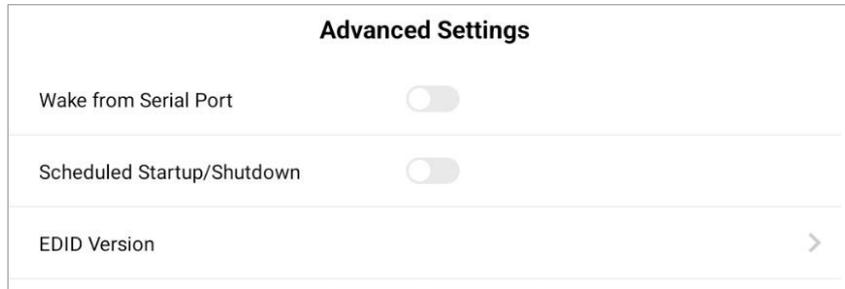


Figure 5-12 詳細設定

シリアルポートからの起動

この機能を有効にすると、スタンバイ状態のデバイスをシリアルポートコマンドで起動できます。

スケジュール起動/シャットダウン

起動およびシャットダウンのスケジュールを設定します。

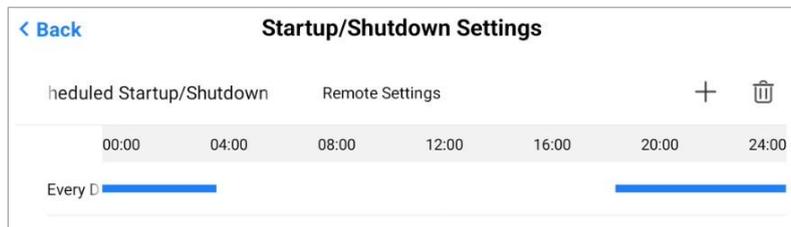


Figure 5-13 スケジュール起動/シャットダウン設定

EDID バージョン

EDID のバージョンを選択できます。



遠くを見据え、さらに遠くへ